

西村クリニック便り 第123号

四條畷 西村クリニック ← 検索

当院のホームページがスマホでも観ていただけます♪

各種健診、入社前健診、予防接種など承っております
またアレルギー検査も随時行っております
ご希望の方はお気軽にお申しつけください

発行元

西村クリニック
四條畷市楠公 1-14-6
072-862-3001

外的、物理的な要因によって体が損傷を受ける事を外傷と言います。外傷には打撲、骨折、擦過傷などいろんなものがありますが、やけど（火傷）も外傷に含まれます。やけどは医学的には熱傷と言ってその皮膚に及ぼす深さによってⅠ度、Ⅱ度、Ⅲ度と分けられます。Ⅰ度熱傷は皮膚のごく浅い部分での損傷であり、皮下組織にダメージを及ぼさないため時間と共に容易に皮膚が再生し治癒しますが、Ⅲ度熱傷となると皮下組織にもかなりのダメージが及んでおり、容易に皮膚が再生しないため皮膚の移植手術をしないと治せないのが一般的であります。Ⅱ度熱傷はその中間であり、Ⅱ度熱傷も少し深くなると皮膚移植が必要となる事もあります。体に熱湯がかかってやけどをするとⅠ度からⅡ度の熱傷となり、火災によるやけどは多くはⅢ度熱傷となります。やけども広範囲になりますと命の危険性が生じます。年齢+熱傷面積が100即ち60歳の人間が体の40%以上の熱傷を受けると命が助からない可能性が大きくなります。私が昔奈良医大の救命救急センターに勤務していた頃、体の何十%にも及ぶ広範囲熱傷の患者さんが時々搬送されてきました。煮えたぎった浴槽のふたを開けようとして誤って落ちてしまったという方や、火災が衣服に燃え移って受傷した方等年齢+熱傷面積が100を超える方も数多く運ばれてきました。広範囲の重症熱傷の患者さんが来られますとICUでの長期に渡る治療が始まります。まず人工呼吸器下での管理のもと昇圧剤等を用いて血行状態を安定させつつ全身熱傷の治療を行います。数名の医師と看護師がチームを組み毎日2時間位かけて創部の洗浄、消毒を含むガーゼ交換を行います。そして数週間後全身状態が安定してきた頃から何回にも分けて皮膚の移植手術を行います。この間全身状態が再び悪化する事もありますが、そこをうまく乗り切れば移植した皮膚も生着し数か月後にICUから一般病棟に移れる様になります。この様に広範囲の重症熱傷の患者さんの治療には莫大な時間と人力が必要となり、患者さんが無事ICUから一般病棟に転出出来た時には担当の医師をはじめスタッフ一同が至福の喜びとなります。さて6年前、京都アニメーションで放火殺人事件があり、放火した犯人A自らも全身熱傷を負って病院に運ばれました。私はこの時治療にあたったスタッフの方々はずごいと思いました。前述の様に広範囲重症熱傷の患者さんの治療は大変な労力が必要となります。いくら人の命を助けるのが仕事とはいえ何十人もの命を奪った人間の命を助ける為に多くのスタッフが日夜を徹して治療にあたったのです。その後この京アニでの放火殺人事件の犯人Aが一番で死刑判決を受けました。そしてつい最近犯人Aが自ら死刑判決の控訴を取り下げたというニュースが報道されました。私はこの話を聞いた時、Aの命を助けた病院のスタッフの方々はずきっと複雑な思いであったろうと想像してやみません。 院長 西村 章



久しぶりにコンサートに行きます。55周年の記念コンサートです。当院もおかげ様で10周年を迎え来院された患者さんも1100人となります。これからは院長ならび全職員で皆様のお力になれるよう頑張っていきます。

編集後記

今年は30年間で一番すごい量の花粉が飛ぶそうです
花粉症対策用サングラスなかなか良いです♪

体をアルカリ性に保つことを意識してみましょう。保つことにより肌や歯の健康、免疫力の向上が期待されます。一般的には野菜や果物、豆類、牛乳、ミネラルウォーターなどです。またコーヒーは成分的には弱酸性ですが、体内で消化・吸収される際にアルカリ度の高いミネラルが残るため栄養学的にはアルカリ性食品となります。ビールはpH4で酸性です。ワインは葡萄が主原料のため体内でアルカリ性となります。アルコール類は大体pH6.3程度と高めです。またアルコールの摂取は少量でも前頭葉の萎縮を早目、認知症のリスクが上がるとの研究発表もあります。また体によいと言われるヨーグルトは酸性です。「酸っぱいもの」寿司、酢つけしたものなどは酸性です。美しい肌は一日にして成らずです。日焼け止め、日傘、食生活を整え肌のケアを怠らずコツコツと積み重ねましょう